

9 週

# 個人の学習課題を決める

## 今週の目標：

- ・ 「『学力低下』の実態」の内容を報告しあう
- ・ さまざまな取り組みを検討する
- ・ 報告しあった内容をふまえて個人で取り組む学習課題を考える

### 演習 (1) 「『学力低下』の実態」の内容を報告し合う

>>09-1-「『学力低下』の実態」を読む

分担して読んだ「『学力低下』の実態」の内容を他のメンバーと報告しあって、「『学力低下』の実態」で示されている問題を理解しましょう。

報告で理解した内容を「09-1-『学力低下』の実態を読む」や「09-1-『子どもを取り巻く・・・』を読む」にまとめましょう。

### 演習 (2) さまざまな取り組みを検討する

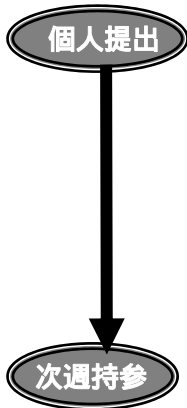
共通テーマから個人テーマを考えるために、まずチームで今話題になっているさまざまな学習指導方法を例に取り上げて、それぞれの長所と短所とを整理してみましょう。

### 演習 (3) 個人で取り組む学習課題を決める

>>08-2-多様な学習者一人ひとりの学力を高めるためにー国語，算数・数学

(1)で報告しあった実態と、(2)で列挙したさまざまな取り組みの長所と短所とをふまえて、多様な学習者一人ひとりの国語や算数・数学の学力を高めるために、あなたならどのように取り組むかの個人課題をたてて、ショートレポートにまとめてください。まず、国語か算数・数学のどちらかを選択し、サブテーマの中に、対象(誰に何を 例：中学・国語)、具体的な学力(どんな学力を 例：文章力)、方法(どのように 例：到達度評価)を明確に決めましょう。明確なテーマかどうか不安を感じたら、チームメンバーに相談しましょう。

「08-2のstep2をよく読んで進めてください」



さまざまな学力レベルにある学習者一人ひとりの国語や算数・数学の学力を高めるために、具体的にどのように取り組むかをショートレポート(A4 2~5枚程度)に各自でまとめて提出しなさい。

ショートレポートをプリントアウトして次週持参すること。チームメンバーからコメントをもらうためです。

### 今後のスケジュール

9 週目 チームの中で分担して読んだことを報告しあいながら、学力低下の実態や幼児教育の実態について考える。共通テーマ「多様な学習者の一人ひとりの学力を高める」(対象教科：国語，算数・数学)に対して、自分ならどのように取り組むか(サブテーマ)を決める(最終レポートの第2章になる)

**個人 Home Work** : 各自のサブテーマを決めて自分の考えを A4 で 2~5 枚でまとめる

10 週目 「国語・算数・数学の学力を向上させるための本校の方針」をチームで決めてまとめる  
**チームとして学習管理システムに提出** : A4 2枚以内で「本校の方針」を提出

11 週目 **第2回チーム発表**・・・学団内でチームレポートを発表  
提出したレポートをこちらが印刷しますので、それを使って他のチームに発表してください

冬休みの課題：

- ・チーム学習の評価2
- ・チーム発表の評価2
- ・最終レポートの下書き(目標レポートレベルの設定)
- ・できるだけレポート執筆を進める

## 「『学力低下』の実態」を読む

チーム番号( ) 月 日( ) 氏名( )

「『学力低下』の実態」(苅谷剛彦ほか, 2002, 岩波書店)の第 部で分担して読んできた結果を報告しましょう。それぞれの報告を聞いて、およその内容や重要だと感じる点を次の記入欄にまとめましょう。

1

2

3

4
5
6

メモ(全体を通して気づいたことなど)

.....

.....

.....

.....

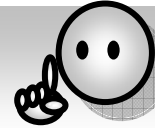
.....

.....

.....

.....

# 国語，算数・数学の学力を高めるための さまざまな取り組みを検討する



内容説明

「多様な学習者一人ひとりの学力を高めるために」という、大きなテーマを一度に解決するのは、大変困難なことです。みなさんが「自分ならこのようにする」という具体的な課題に取り組む時の参考にするために、チームでさまざまな学習指導方法を例に取り上げて、それぞれの長所と短所を整理してみましょう。

## 個別指導や個別学習教材

国語，算数・数学の基礎学力を育てるための指導法に、どのようなものがあるでしょうか。「個に応じた指導」、「きめ細かな指導」ということがしばしば主張されていますが、従来の市販教材や通信教育の教材でもこうした個別学習を可能にするよう配慮していますし、学習塾でも個別指導方式が急激に増えています。このように、「一人ひとりが学ぶ」ということを意識したものについて考えるために、次の課題にチームで取り組みましょう。

1. 次の方法についてチームで話し合い、長所と短所をあげなさい。

個別指導

個別学習用教材の共同開発と利用

市販の個別学習用教材の利用

ゲームやドリルソフトなどの自学用ソフトの利用

その他( )

## 少人数授業，ティームティーチング，習熟度別指導

新学習指導要領に対応して2002年1月17日に文部科学省が出した「確かな学力の向上のための2002アピール『学びのすすめ』」では、「新しい学習指導要領のねらいとする児童生徒の確かな学力の向上」のために5つの方策を示しています。その中の1つである「きめ細かな指導で、基礎・基本や自ら学び自ら考える力を身に付ける」という方策については、「教科ごとの学習状況に応じて、少人数授業や習熟度別指導など個に応じた指導を大幅に取り入れる」という説明がされています。

2003年2月3日に文部科学省が発表した「公立小・中学校における教育課程の編成状況等の調査結果」によると、2002年5月に習熟の程度に応じた指導を行っている小学

校・中学校は6割を超えています。ただし、指導方法には3種類のタイプがあり、それぞれの内容は

**類型 A:** 例えば2学級を3つの学習集団に分けるなど学級の枠を超えて、習熟の程度に応じた学習集団を編成し、それぞれの学習集団を異なる教師が指導する場合。

**類型 B:** 1学級を2つ以上の習熟の程度に応じた学習集団に分け、それぞれの学習集団を異なる教師が指導する場合。

**類型 C:** その他(例として、1学級を単位とし、1人または複数の教師が、個人や学習集団によって、習熟の程度に応じて課題等を変えるなどの指導を行う場合など。)

と例示されており、小学校では類型Cのパターンでチームティーチングと絡めながら実施することが多く、中学校では類型Bのパターンで少人数授業の形で実施することが多いとされています。類型Cの( )内の具体例の一つとして個別指導や個別教材の開発が考えられますが、これらと類型AとBとは明らかな違いがあります。類型AとBは習熟度別の学習集団に分けて一斉指導を行っているという点です。

以上の調査結果からは、教育現場で少人数授業やチームティーチングや習熟度別指導を行っている小学校や中学校が多いことが明らかになっていますが、この状況について佐藤学(2004)は批判的な視点を提供しています。

2. 資料を参考にしながら少人数授業, チームティーチング, 習熟度別指導の長所と短所を挙げなさい。